



第2期 久留米市食料・農業・農村基本計画

【平成28年度 実績報告】

【平成29年度 実施計画】

久留米市農政部

1. 平成 29 年度久留米市予算の概要

久留米市の平成 29 年度の農林水産業予算は約 46 億円で、一般会計歳出予算 約 1,360 億円の約 3.4%を確保しています。

【久留米市一般会計予算 歳出（目的別）】

	H28年度		H29年度	
	当初予算額	対前年度・伸び率	当初予算額	対前年度伸び率
農林水産業費 (全体予算比)	4,166百万円 (3.1%)	+456百万円 +12.3%	4,647百万円 (3.4%)	+481百万円 +11.6%
歳出予算合計	133,440百万円	△5,960百万円 △4.5%	135,980百万円	+2,540百万円 +1.9%

【H29 年度予算 一般会計 6 款農林水産業費】

区分	金額(千円)
1 農業費	4,517,485
1 農業委員会費	149,901
2 農業総務費	613,336
3 農業振興費	1,790,693
4 畜産業費	464,202
5 農地費	734,959
6 国土調査費	3,972
7 農業開発費	760,422
2 林業費	126,211
1 林業総務費	55,406
2 林業振興費	70,805
3 水産業費	3,091
1 水産業振興費	3,091
合計	4,646,787

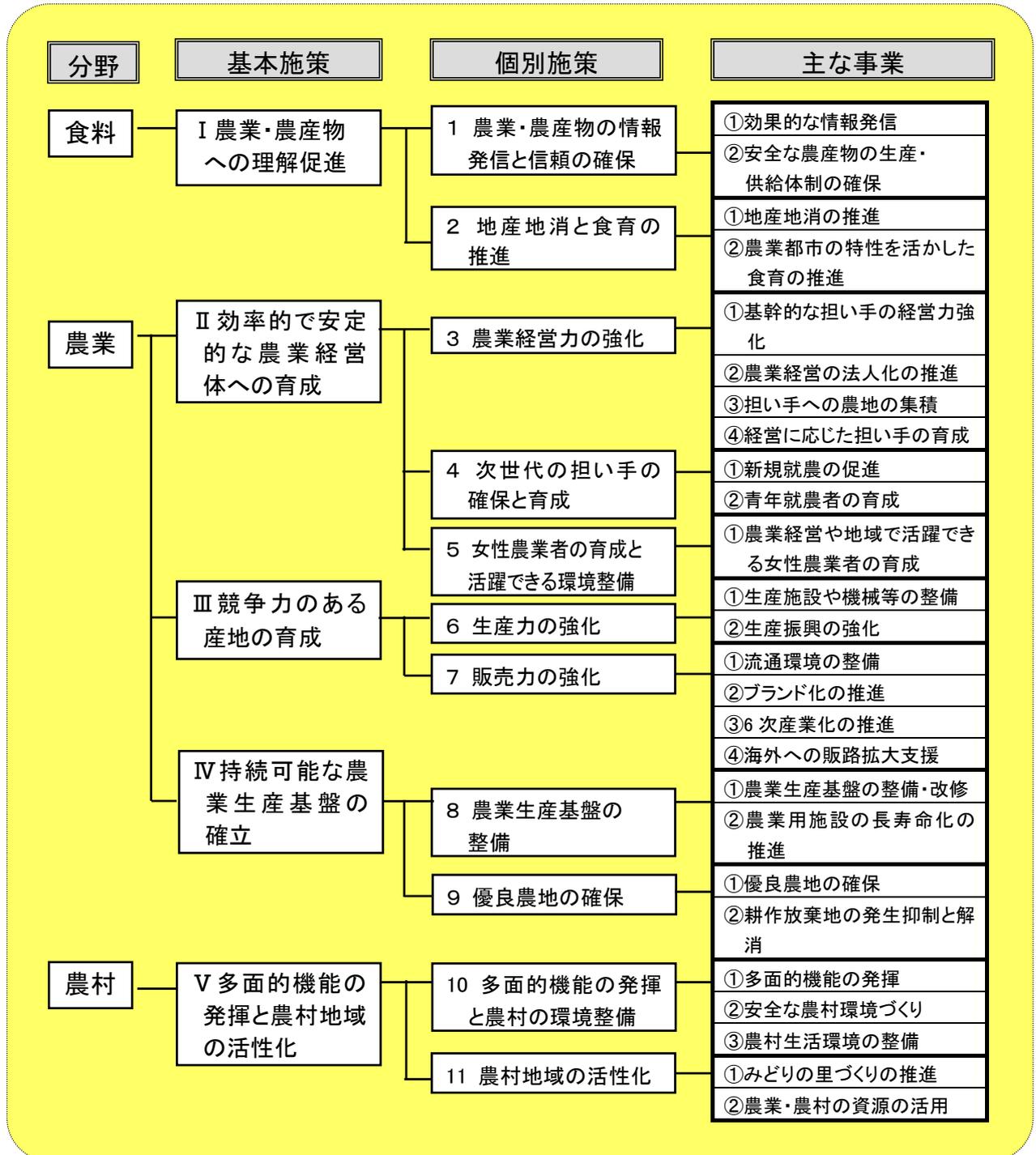
【H29 年度予算 特別会計】

事業名	金額(千円)
4 中央卸売市場事業	331,000
10 地方卸売市場事業	29,000
11 農業集落排水事業	237,000

2. 第2期計画の施策体系

基本的な考え方：市民みんなで参加する久留米の食と農

全体目標：職業として選択できる魅力ある農業の実現



3. 施策ごとの「平成 28 年度実績報告」及び「平成 29 年度実施計画」

【成果指標】

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業都市への市民の理解度	%	27.6 (H26)	60	66	—	—	—	60
農業・農村の持つ多面的機能の認知度	%	51.2 (H26)	54.5	52.3	—	—	—	65
販売金額等 1 千万円以上の認定農業者	%	74	75	74	—	—	—	80

基本施策 I : 【食料】 農業・農産物への理解促進

個別施策 1 : 農業・農産物の情報発信と信頼の確保

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業関連イベントの毎年度の来場者数	万人	58.7	61.2	54.2	—	—	—	65



1. 安全な農産物の生産・供給体制の情報発信

環境保全型農業の PR カバークロープ（レンゲなどの植物を利用した土壌の地力確保の取組）ほ場に PR 看板を設置した。	環境保全型農業の PR 環境保全型農業を実施しているほ圃場の PR を行う。	生産流通課
道の駅ぐるめの情報発信 ホームページで安全安心な農産物の情報発信（季節の旬の農産物の紹介及び調理方法などの紹介）を行った。	道の駅ぐるめの情報発信 ホームページで安全安心な農産物の情報発信を行う。	みどりの里づくり推進課

① 効果的な情報発信

2. 久留米産農産物の魅力についての情報発信

久留米産農産物の PR ＜市場関係者対象＞ ・福岡市場（ベジフルスタジアム）での柿のトップセールス（H28.11.7）※広域連携 ・大阪市場でのリーフレタスのトップセールス（H28.12.20） ＜消費者対象＞ ・久留米フェスティバル in 天神（H28.11.23） ・くるめ農商工よかもんマルシェ（H29.1.28） ・キラリ久留米農産物マルシェ（H29.3.20） ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州（H28.10.4-6） ・アグリフード EXPO 大阪（H29.2.22-23）	久留米産農産物の PR ＜市場関係者対象＞ ・大都市圏におけるトップセールス ＜消費者対象＞ ・プロモーション動画の制作【新規】 ・東京アンテナショップでの PR【新規】 ・キラリ久留米農産物マルシェ（市内量販店等） ・シティプロモーション連携イベント ＜バイヤー対象＞ ・フードエキスポ九州（H29.10.4-5） ・アグリフード EXPO 大阪（H30.2）	農政課
--	---	-----

① 効果的な情報発信

<p>久留米つつじ等の PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 久留米駅 (H28.4.11~4.21) や市役所 (H28.4.4~4.11) での展示。 ・ 久留米シティプラザオープニングに合わせた展示 PR ・ 地元関連企業等へアザレアを進呈し PR を行った。 	<p>久留米つつじ等の PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 久留米駅や市役所での展示 (4 月上旬) ・ 地元関連企業等へのアザレアの進呈 	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p>道の駅くるめを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特設コーナー等において、地域農産物の PR を実施。 ・ ネット販売機能を活用し、情報の発信を行った。 	<p>道の駅くるめを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特設コーナー等による地域農産物の PR ・ ネット販売機能を活用した情報発信 	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p>久留米つばき園を活用した情報発信</p> <p>第 8 回久留米つばきフェアを開催し、緑花木の魅力向上を図る情報発信を行った。</p> <p>(フェア全体来場者：51,748 人 (9 日間))</p>	<p>久留米つばき園を活用した情報発信</p> <p>第 9 回久留米つばきフェアを開催し、緑花木の魅力向上を図る情報発信を行う。</p>	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p>久留米市世界つつじセンターを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新品種「春の夢」「花さより」等について、つつじフェアで PR を行った。 ・ 一般開放による久留米つつじの PR ・ ホームページの改修を行い効果的な PR を行った。 	<p>久留米市世界つつじセンターを活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新品種「春の夢」「花さより」等について、つつじフェアで PR を行う。 ・ 一般開放による久留米つつじの PR ・ ツツジの新たな魅力を見せる (ライトアップ等)。 	
<p>久留米ふれあい農業公園を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みどりの里・収穫フェアを開催し、地域農産物の販売・情報発信を行った。 ・ 市民農園の利用促進を図った。 <p>(H28 利用率 93.95%)</p>	<p>久留米ふれあい農業公園を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みどりの里・収穫フェアの開催。 ・ 市民農園の利用促進 	
<p>中央卸売市場による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場まつり (H29.2.11、10 千人) ・ 夏休み子ども市場探検隊 (H28.7.23、46 人) ・ 消費者見学会 (H28.10.1、43 人) 	<p>中央卸売市場による情報発信</p> <p>市場まつりや市場見学会を開催し、中央卸売市場の機能や旬の味覚情報を発信する。</p>	<p>中央卸売市場</p>

3. 農業・農村の公益性 (多面的機能) についての情報発信

<p>冊子、イベント等による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業まつり等でのパネル展示 ・ 「くるめ生きものプラン」(環境保全課作成) の中で多面的機能を紹介し、周知を図った。 	<p>冊子、イベント等による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生向けのチラシを作成し、「久留米産農産物学校配布事業」とともに配布を行う。 ・ 農業まつり等でのパネル展示 	<p>農政課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農村整備課
---	--	--

4. 農業関連イベントによる生産者と消費者の交流促進

・ふるさとくるめ農業まつり H28.11.12～13、68 千人	・ふるさとくるめ農業まつり H29.11.11～12 予定、目標 68 千人	農政課
・くるめ食育フェスタ H28.11.12～13、68 千人	・くるめ食育フェスタ H29.11.11～12 予定、目標 68 千人	
・久留米つばきフェア H29.3.11～19、51.7 千人	・久留米つばきフェア H30.3 月中旬予定	みどりの里づくり推進課
・つつじフェア H28.4.21～24、625 人	・つつじフェア H29.4.15～23	
・みどりの里・秋穫フェア H28.11.5～6、19.8 千人	・みどりの里・秋穫フェア H29.10.28～29 ※第 37 回豊かな海づくり大会 福岡大会内水面会場同時開催：道の駅くるめ	
・市場まつり H29.2.11、10 千人	・市場まつり H29.10.8 予定	中央卸売市場
・市場見学会 H28.7.23、H28.10.1、89 人	・市場見学会 H29.7 予定、H29.11 予定	
・久留米つつじまつり H28.4.5～5.5、229 千人	・久留米つつじまつり H29.4.5～5.5	みどりの里づくり推進課
・久留米植木まつり H29.2.10～28、55 千人	・久留米植木まつり H30.2 月予定	
・よ花っ祭 H28.11.19、2 千人	・よ花っ祭 H29.11 月上旬予定	
・久留米菊花展 H28.10.28～11.11、3 千人	・久留米菊花展 H29.10 月下旬～11 月上旬予定	田主丸産業振興課
・グリーンフェスティバル H28.5.22、16 千人	・グリーンフェスティバル H29.5.21	
・田主丸耳納の市 H28.11.26～11.27、35 千人	・田主丸耳納の市 H29.11.18～11.19 予定	
・菊花展 H28.10.31～11.5、0.3 千人	・菊花展 H29.11.1～5 予定	北野産業振興課
・コスモスフェスティバル H28.10.8～9、37 千人	・コスモスフェスティバル H29.10.21～22 予定	
・城島ふるさと夢まつり H28.9.17～18、600 人 (台風のため 18 日中止)	・城島ふるさと夢まつり H29.9 予定	城島産業振興課
・ふるさとみづま祭 H28.11.5～6、65 千人	・ふるさとみづま祭 H29.11 予定	三潴産業振興課

5. 農業表彰事業

① 効果的な情報発信

表彰の名称	内容	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
農業功労者表彰	本市の農林水産業の振興に寄与された方	10 人	団体からの推薦を募集し、選考、農業まつりにて表彰する。	農政課
ふるさと農業奨励賞	今後の活躍が期待されるリーダー	4 人		
農業名人	農林水産業に秀でた技術を有する方	1 人		

② 安全な農産物の生産・供給体制の確保

1. ポジティブリスト制度や GAP (農業生産工程管理) の推進

制度の周知	制度の周知	生産流通課
市役所及び 4 総合支所等で、ポジティブリスト制度・GAP のポスターやチラシを掲示するとともに、市のホームページで制度等について掲載し周知を図った。	市役所及び 4 総合支所等でのポジティブリスト制度・GAP のポスターやチラシの掲示、市のホームページへの制度等の掲載により周知する。	

基本施策 I : 【食料】 農業・農産物への理解促進

個別施策 2 : 地産地消と食育の推進

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
地産地消を意識している市民の割合	%	49.4 (H26)	58.8	56.8	-	-	-	65

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

1. 久留米産農産物を購入・消費できる環境整備

① 久留米産表示の支援

<p>キラリ久留米ロゴマーク導入支援 JA くるめ、JA みづま、近郊出荷者連合会に対し、包装資材版代の支援を行った。(補助実績 700 千円)</p>	<p>キラリ久留米ロゴマーク導入支援 ・包装資材版代、シール作成支援など ・予定団体：市内 JA、近郊出荷者連合会道の駅くるめなど (予算：1,500 千円)</p>	農政課
---	--	-----

② 地産地消推進店の拡充・連携

<p>登録店舗の PR・制度の周知 ・広報くるめ 11 月 1 日号特集記事「久留米の農産物は久留米で」 ・農業まつりや市場まつり等において、店舗の PR や制度の周知を図った。 ・地産地消推進店マップ 6,500 部発行 ・299 店舗 (前年比▲67 店舗)</p>	<p>登録店舗の PR・制度の周知 ・各イベントや市ホームページ等で、地産地消推進店制度の周知を行う。 ・地産地消推進店マップを作成し、市のホームページ等で広く PR する。</p>	農政課
<p>推進店への情報提供 6 次産業化交流会、農業まつり(8 店舗出店)、市場まつり(4 店舗出店)、農商工連携見本市などの出展について情報提供をした。</p>	<p>推進店への情報提供 6 次産業化交流会、農業まつり、市場まつり、農商工連携見本市などの出展等について情報提供を行う。</p>	
<p>アンケートによる推進店への意向調査 ・H29.2 実施、183 店/299 店回収</p>	<p>アンケートによる推進店への意向調査 ・H30.1 頃実施予定</p>	
<p>地産地消通信の発行 ・事例紹介 (農業まつり出展)、くるめ米の紹介等 (H29.2 発行)</p>	<p>地産地消通信の発行 ・年度内、3 回程度発行予定</p>	

③ 学校給食への導入支援

<p>地場農産物導入支援事業 久留米市学校給食会、城島地域集団給食地場特産農産物導入推進協議会に対し地場農産物の導入を支援した。(実績 1,418 千円)</p>	<p style="text-align: center;">事業終了</p>	農政課
<p>JA くるめ青年部じゃがいも導入 ・学校給食導入に向けた学校給食会等との協議の支援。(6.98t を納入)</p>	<p>JA くるめ青年部じゃがいも導入 ・学校給食導入に向けた学校給食会等との協議の支援。(7.2t を納入予定)</p>	

④ 中央卸売市場の市内流通の促進

<p>生産者と市場関係者との意見交換 JA くるめ、久留米青果(株)及び市農政部で久留米市中央卸売市場への出荷に関する意見交換会を開催した。(H28.8.29)</p>	<p>生産者と市場関係者との意見交換 JA くるめ、久留米青果(株)及び市農政部の意見交換会を継続開催予定。</p>	中央卸売市場
---	---	--------

① 地産地消の推進

1. 久留米市食育推進プランの推進

① 食育推進会議の活動支援

<p>食育フェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12・13日、来場者68,000人 ・体験イベント：10コマ、330人参加（ふりかけ・ベジロスoup作り、味噌屋のだご汁作り等） <p>（補助実績：1,510千円）</p>	<p>食育フェスタの開催</p> <p>クイズコーナーや親子で参加できる調理体験などを中心に、体験しながら食育について学ぶ。（11月11・12日予定）</p>	<p>農政課</p>
<p>食育通信の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、食育友の会や小中学校等へメール送信 ・イベントのお知らせ等郵送：2回 	<p>食育通信の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月メール送信 ・郵送で4回送付予定 	
<p>第3次食育推進プランの発行・配布</p> <p>第3次食育推進プラン（計画期間：H28～H32年度）について、本冊（900部）および市民PR向けの概要版（6,000部）を発行した。（費用733千円）</p>	<p>第3次食育推進プランの発行・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で概要版を配布し、食育推進プランの周知を図る。 	

2. 農業や久留米産農産物への理解促進

<p>久留米産農産物の料理講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員協議会委託 市内30回開催のうち、2回をPTAと連携し、子育て世代向けに実施。 （費用714千円） ・子育て世代向け料理教室 ゆめタウン久留米内のABCクッキングスタジオにて柿やリーフレタスを使用したレシピによる料理教室の開催と情報の発信（38名参加） （H28.10、費用400千円） 	<p>久留米産農産物の料理講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員協議会委託 市内30回開催のうち、2回を子育て世代向けに実施予定。 （予算714千円） ・子育て世代向け料理教室 民間企業のノウハウを活用した料理教室の開催と情報の発信 （予算700千円） 	<p>農政課</p>
<p>レシピ集の発行</p> <p>平成27年度に食進会に委託して実施した料理講習会のレシピ集を発行した。（3,600部、6月発行、費用500千円）</p>	<p>レシピ集の発行</p> <p>平成28年度に食進会に委託して実施した料理講習会のレシピ集を発行する。（3,600部、8月発行、予算500千円）</p>	
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>久留米産農産物学校配布事業【新規】</p> <p>小学生に旬の久留米産農産物を配布することで、食べてもらう機会を増やし、久留米市の農業・農産物への理解促進につなげる。（予算400千円）</p>	
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>農業の多面的機能の周知【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米産農産物学校配布事業に併せて、小学生へチラシ等の配布 ・環境交流プラザでの特別展示 	

② 農業都市の特性を活かした食育の推進

<p>学童農園設置事業 ・小学生を対象に田植えなどの体験を通し、農業への理解促進を図った。 (40校、補助実績 4,000 千円)</p>	<p>学童農園設置事業 ・小学生を対象に田植えなどの体験を通じた農業への理解促進を図る。 (予算 4,600 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p>消費者体験交流事業 農業団体等が実施する消費者交流事業に対し支援を行った。 (水稲の農作業体験、じゃがいもやぶどうなど収穫体験、搾乳体験) (12 団体、補助実績 1,064 千円)</p>	<p>消費者体験交流事業 農業者が実施する消費者交流事業に対し支援を行う。 (14 団体、予算 1,400 千円)</p>	

【基本施策 I 「農業・農産物への理解促進」：H29 年度施策の方向性】

H28 年度は、市内外での各種イベントや、子育て世代をターゲットとした料理講習会を新たに実施するなど、各事業を通じて、農業・農産物の理解促進に取り組んだ。

H29 年度は、引き続き市民の理解と信頼の確保のため、安全な農産物を生産する取組や農業の持つ多面的機能について情報発信を行うとともに、県内最大の農業都市であることなどを PR するプロモーション動画の製作など様々な手段や場面を通じて、効果的な情報発信に取り組む。

また、食育推進事業として、旬の久留米産農産物を小学生へ配布する事業や、市内直売所などでの「キラリ久留米（くるっば）ロゴマーク」の掲示支援など、市域における情報発信を強化するとともに、東京のアンテナショップやシティプロモーション事業を活用し、久留米産農産物や農業都市としての認知度向上を目指す。

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策3：農業経営力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
集落営農法人数	組織	15	26	32	—	—	—	45
認定農業者等の農地集積率	%	44.6	45.4	51.3	—	—	—	60



1. 認定農業者への経営力向上支援

<p>認定農業者の認定 再認定や新規認定者の農業経営改善計画の作成支援を行った。 ・ H28 年度末 853 経営体(前年比+12) 更新 141 人、新規認定 50 人</p>	<p>認定農業者の認定 再認定や新規認定者の農業経営改善計画の作成支援を行う。</p>	農政課
<p>農業経営支援研修会 農商工連携見本市と同時開催により、研修会を開催した。 ・ H29.2.8、参加者 95 人 ①「不安定化する世界食糧市場と日本農業の課題」 講師：(株)資源・食料問題研究所 代表取締役 柴田明夫 氏 ②「男女ともに輝く農業を目指して」 講師：みやま市 農業委員会 会長 徳永順子 氏</p>	<p>農業経営支援研修会 農政情報や今後の経営に参考になる内容の講演会を開催する。 (農商工連携見本市と同時開催予定)</p>	
<p>認定農業者協議会活動支援 各地域 5 つの協議会の活動を支援した。 (補助実績：1,908 千円)</p>	<p>認定農業者協議会活動支援 各地域 5 つの協議会の活動を支援する。 (予算：2,400 千円)</p>	

2. 集落営農法人化後の支援

<p>担い手経営力強化事業 先進的法人による講演や、法人間の意見交換（グループワーク）を実施した。 (2 回実施：98 千円)</p>	<p>担い手経営力強化支事業 法人が抱える課題について、各種専門家による指導、法人間の意見交換、先進法人による講習を行う。(予算：221 千円)</p>	生産流通課
<p>力強い水田農業確立事業（県単） 大規模経営体が経営発展を目指し、新たな経営に取り組むための支援を行った。 (5 件、2,381 千円)</p>	<p>力強い水田農業確立事業（県単） 農地の集積・集約化に取り組む経営体が農業経営の高度化に取り組むための支援を行う。 (1 件、412 千円)</p>	
<p>園芸作物導入支援事業 集落営農法人が園芸品目を導入するための調査研修や試験圃場等への支援を行った。(4 法人、800 千円)</p>	<p>園芸作物導入支援事業 集落営農法人が園芸品目を導入するための調査研修や試験圃場等へ支援を行う。 (予算 2,500 千円)</p>	

① 基幹的な担い手の経営力強化

② 農業経営の法人化の推進

1. 法人化等への支援

<p>集落営農法人化支援事業 法人設立に要する経費や法人の運営経費等の支援を行った。 ・実績：新規 6 組織 6,000 千円 ・実績：継続 10 組織 4,963 千円</p>	<p>集落営農法人化支援事業 法人設立に要する経費や法人の運営経費等の支援を行う。 ・予算：新規 4 組織 4,000 千円 ・予算：継続 10 組織 5,000 千円</p>	<p>生産流通課</p>
<p>雇用型農業の推進 農業振興協議会で雇用型農業や法人化を推進するための研修会を開催した。 <久留米市農業振興協議会> 日時：H28.8.3、参加者 15 人 視察先：株式会社 久保田農園 <三井地区農業振興協議会> ①日時：H29.1.11、参加者 46 人 内容：安定した農業経営の工夫と安心安全への取組 講師：(農)e-FARM 久留米 代表理事 城戸紀彰氏 ②日時：H29.3.10、参加者 19 人 内容：上手な雇用のポイント 講師：FP 社労士総合コンサル事務所 所長 中尾恵介氏</p>	<p>雇用型農業の推進 農家の規模拡大を支援し、雇用型経営の育成ならびに地域における雇用システムの確立を目指すための研修会を開催する。 (予算：85 千円)</p>	<p>農政課</p>

③ 担い手への農地の集積

1. 農地中間管理事業

農地貸借の受皿である農地中間管理機構を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。

<p>地域集積協力金 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付。1.4 万円/10a ・3 地域 7,943 a (実績 11,120 千円)</p>	<p>地域集積協力金 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付。1.5~2.7 万円以内/10a (予算 11,004 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p>経営転換協力金 経営転換、リタイア、相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に交付。貸し付ける面積に応じて 30~70 万円 6 人、2.7ha (実績 2,050 千円)</p>	<p>経営転換協力金 経営転換、リタイア、相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に交付。貸し付ける面積に応じて 4~70 万円交付。 (予算 3,900 千円)</p>	<p>農政課</p>
<p>耕作者集積協力金 農地の集積・集約化に協力する出し手への支援。1 万円/10a ・実績なし</p>	<p>耕作者集積協力金 農地の集積・集約化に協力する出し手への支援。1 万円以内/10a (予算 3,900 千円(再掲))</p>	<p></p>
<p>農地集積交付金(県単) 機構を通じて 3 年以上の水田の貸借契約をした者。0.35~0.7 万円/10a ・121 戸 9,603 a (実績 6,709 千円)</p>	<p>農地集積交付金(県単) 機構を通じて 3 年以上の水田の貸借契約をした者。0.5~1 万円以内/10a (予算 1,280 千円)</p>	<p>生産流通課</p>

主な事業

H28 年度実績

H29 年度計画

担当課

③
担い手への農地の集積

2. 認定農業者等の農地集積支援

<p><u>土地利用型認定農業者等経営安定対策事業</u> 生産調整対象水田の利用権を新規設定した認定農業者や農業法人に対する支援。 (8千円/10a 利用権設定期間6年以上) 207ha、78件 (補助実績 16,567千円)</p>	<p><u>土地利用型認定農業者等経営安定対策事業</u> 生産調整対象水田の利用権を新規設定した認定農業者や農業法人に対する支援。 (8千円/10a 利用権設定期間6年以上) (予算額：15,376千円)</p>	<p>農業委員会事務局</p>
--	---	-----------------

④
経営に応じた担い手の育成

1. 九州大学との連携事業

<p><u>集落営農法人の経営力向上支援</u> 集落営農法人(10 法人)に対して、経営に関するヒアリング・調査・分析を実施した。</p>	<p><u>集落営農法人の経営力向上支援</u> 前年度の検証結果を受け、競争力のある農業の確立を目指し生産組織の経営の安定化を図るため、園芸作物の導入や生産拡大に取り組む集落営農法人に対して、支援を行う。 ※園芸作物導入支援事業【再掲】 (予算：2,500千円)</p>	<p>生産流通課、農政課</p>
--	--	------------------

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策4：次世代の担い手の確保と育成

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
毎年度の新規就農者数	人	12	31	H28.9月以降公表	—	—	—	20

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 新規就農の促進	1. 情報提供による就農の促進・支援		農政課
	<u>就農相談への対応</u> ・就農相談窓口看板の設置（5箇所） ・「就農の手引き」の増刷（1,000部） （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	<u>就農相談への対応</u> ・「就農の手引き」の改訂 （2,000部、予算237千円） （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	
	<u>雇用就農の促進</u> 県就農マッチングセンターが開設した「ふくおかで農活！農業就職応援サイト」に久留米市内の農家7件が登録した。	<u>雇用就農の促進</u> 県就農マッチングセンターへの登録を推進し、雇用就農の促進を図る。	
	<u>農業実践研修事業【新規】</u> ・研修生：3人 ・受入先の認定農業者：3件 （実績：911千円）	<u>農業実践研修事業</u> 就農を目指す意欲ある研修生を受入れる農業法人等に研修費の一部を支援。 （予算：3,000千円）	
<u>就農支援金【新規】</u> 新規就農者の初期負担軽減を図るため、農業用機械や生産資材等の購入にかかる費用の一部を支援（予算：3,000千円）			

② 青年就農者の育成	1. 経営力や技術の向上支援		農政課
	<u>青年就農給付金「経営開始型」による支援</u> 新規就農希望者の個々の状況に応じて就農へ向けたアドバイスや就農計画の作成支援、就農後の指導等を行った。 ・平成28年度給付者63人 （うちH28年度開始9人） （実績80,125千円）	<u>農業次世代人材育成投資事業（旧青年就農給付金）「経営開始型」による支援</u> ・関係機関とサポート体制を構築し、受給希望者に対する相談支援、および、既受給者に対する指導、助言を行う。 （予算111,125千円）	
	<u>認定新規就農者の認定</u> JA・普及センターと連携し、青年等就農計画の作成を支援し、15人の新規認定を行った。（新規9人・更新6人）	<u>認定新規就農者の認定</u> 関係機関と連携し、希望者への青年等就農計画の作成支援、認定等を行う。	
<u>研修会等の開催</u> ・先輩農業者等との座談会 （H28.8.18、24 参加者28人） ・営農基礎講座 農業簿記や農薬・肥料等の基礎知識 （H28.10.25、12.9 参加者32人） （事業主体：市担い手育成総合支援協議会）	<u>研修会等の開催</u> 先輩農業者等との座談会、農薬や施肥等に関する営農基礎講座を開催し、新規就農者が早期に安定した農業経営を確立するための支援を行う。		

2. 青年就農者の活動支援・意欲向上

<p>4Hクラブの活動支援 概ね 30 歳未満の青年農業者で組織する 4HC の活動支援を行った。 ・久留米市 4HC(200 千円) ・田主丸 4HC(300 千円) ・北野 4HC(400 千円)</p>	<p>4Hクラブの活動支援 概ね 30 歳未満の青年農業者で組織する 4HC の活動支援を行う。 ・久留米市 4HC(200 千円) ・田主丸 4HC(300 千円) ・北野 4HC(400 千円)</p>	<p>農政課</p>
<p>海外研修支援 農業後継者が実施する海外研修に対して助成を行った。 (実績：1 人、50 千円)</p>	<p>海外研修支援 農業後継者が実施する海外研修に対して助成を行う。 (予算 100 千円)</p>	
<p>次世代のリーダー育成 「JA くるめ青年部ネットワークアカデミー」において、コミュニケーション能力・リーダーとしての意識向上など 4 回の講座と視察研修を行った。 ・参加者 23 名</p>	<p>次世代のリーダー育成 「JA くるめ青年部ネットワークアカデミー」において、昨年に引き続き、コミュニケーション能力、組織育成能力などの研修を支援する。 (事業主体：久留米市農業振興協議会)</p>	

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策5：女性農業者の育成と活躍できる環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
認定農業者における女性農業者の割合	%	4.0	4.5	5.3	—	—	—	7.0

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

1. 女性農業者の人材育成

① 農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成	<p>女性農業者リーダー養成事業 (県の経営ビジョン策定研修に4名参加) 意欲ある女性農業者が経営に関する研修、専門家による個別相談会、優良事例調査等を通じて、経営ビジョンの実現に向けた行動計画の策定を支援した。</p>	<p>女性農業者リーダー養成事業 (県の経営ビジョン策定研修に参加) 本格就農した女性農業者に対して、農業経営の将来像となる経営ビジョンの策定及び行動計画の作成を行う研修(経営ビジョン策定研修等)を支援する。</p>	農政課
	<p>新規就農女性ネットワーク研修 (女性の新規就農者5名参加) 女性の新規就農者のためのネットワーク構築を目的とした研修会、現地視察及び交流会を開催し、相互交流の支援を行った。(普及センターとの連携事業)</p>	<p>新規就農女性ネットワーク研修 就農5年以内の方を対象に、先輩農業者の講演や交流会を開催し、意欲向上や女性農業者間の関係構築を支援する。(普及センターとの連携事業)</p>	
	<p>女性農業者活動支援事業 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行った。 ・城島アグリレディス ・女性農村アドバイザー田主丸部会 (補助実績53千円)</p>	<p>女性農業者活動支援事業 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行う。 (予算:500千円)</p>	
	<p>認定農業者への申請の推進 家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシを用い、研修会や認定農業者の相談会等で推進を図った。</p>	<p>認定農業者への申請の推進 家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシ等を用い、研修会や認定農業者の相談会等で推進を図る。</p>	
	<p>女性農業者の活躍促進事業 女性農業者が商品開発等を行う際の支援を行った。(県1/2、市1/20) ・商品開発支援 1件 梨の加工用機器整備(乾燥機・冷蔵庫) (実績1,089千円)</p>	<p>女性農業者の活躍促進事業 女性農業者が起業を目指し、商品開発等を行う際の支援を行う。(県1/2、市1/20) ・商品開発支援 1件 ・販路開拓支援 1件 (予算1,100千円)</p>	

① 農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成

2. 女性農業者が活躍できる環境の整備

<p>家族経営協定の推進</p> <p>・新規締結 17 件 計 425 件 (久 150、田 69、北 110、城 58、三 38)</p>	<p>家族経営協定の推進</p> <p>認定農業者の相談会や研修会等で家族経営協定制度や事例について紹介するなど、締結や見直しについて推進する。</p>	<p>農政課</p>
<p>農業団体への啓発</p> <p>各種協議会や農業功労者の推薦の依頼時に、各農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。</p>	<p>農業団体への啓発</p> <p>各種協議会や農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行う。</p>	
<p>女性農業者の実態調査</p> <p>直近 5 年間に家族経営協定を締結した 77 家族を対象に、フォローアップアンケートを実施し、協定締結後の現状把握を行った。</p>	<p>女性農業者の実態調査</p> <p>28 年度に実施した家族経営協定フォローアップアンケートの結果を整理し、事業の検討を行う。</p>	

【基本施策Ⅱ「効率的で安定的な農業経営体への育成」：H29 年度施策の方向性】

研修会等の開催や農地集積支援によって、基幹的担い手である認定農業者の経営力向上に取り組むとともに、集落営農組織の法人化の支援、経営多角化を含む法人化後の経営力強化支援に取り組む。また、昨年に引き続き「青年農業者のリーダー育成研修」を実施し、基幹的農業者への移行を目指す。

次世代の担い手の育成については、引き続き、関係機関と連携し、座談会や各種研修会を実施するとともに、就農後、早期に安定した経営基盤を築くため、就農前の知識や技術の習得を支援する「農業実践研修」や、今年度は新たに、新規就農者の初期負担の軽減や経営発展を支援する「就農支援金交付金事業」に取り組み、次世代の担い手の確保を図る。

女性農業者の育成については、女性農業者リーダー養成講座や就農間もない女性農業者の交流促進を目的とした「新規就農女性ネットワーク研修」に取り組むとともに、様々な場面を活用し、認定農業者の共同申請や家族経営協定締結を推進する。

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策6：生産力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
主な野菜・果樹の収穫量	トン	25,122 (H24年産)	32,975 (H25年産)	30,096 (H26年産)	—	—	—	26,400

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

1. 機械等の導入・整備支援

① 生産施設や機械等の整備	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 (県費 1/2 又は 1/3、市費 1/20) ・実績 58 件、事業費 476,612 千円 県補助 205,891 千円、市補助 21,979 千円 ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など</p>	<p>活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図る。 (県費 1/2 又は 1/3、市費 1/20) ・予算 71 件、事業費 728,411 千円、 県補助 292,213 千円、市補助 32,695 千円 ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など予定</p>	生産流通課
	<p>経営体育成支援事業(融資主体型補助) 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 3/10) ・実績 1 件、事業費 3,090 千円 国補助 927 千円 ・内容：育苗ハウス</p>	<p>経営体育成支援事業(融資主体型補助) 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 3/10) ・予算 4 件、事業費 33,000 千円 国補助 10,000 千円 ・内容：トラクター、育苗ハウスなど</p>	
	<p>担い手確保・経営強化支援事業【新規】 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成。(国費 1/2) ・実績(H27) 2 件、事業費 48,908 千円 国補助 22,641 千円 (H27 繰越事業) ・内容：トラクター、収穫機、封緘機など</p>	<p>事業終了。</p>	
	<p>強い農業づくり交付金 国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの共同利用施設の整備等を支援(国費 1/2 等、市費 1/20 等) ・H28 実績なし</p>	<p>強い農業づくり交付金 県産ブランド鶏「はかた地どり」の改良促進による、出荷羽数増加と肉質の高度安定化に対応した食鳥処理施設整備を支援。(国費 1/2 以内、市費 1/20 以内) ・予算 1 件、事業費 795,351 千円 国補助 368,218 千円、市補助 36,821 千円</p>	
	<p>産地パワーアップ事業費補助金【新規】 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援(国費 1/2 等、市費 1/20) ・実績 33 件、事業費 916,495 千円 国補助 424,298 千円、市補助 42,419 千円 ・内容：産地化に必要なパイプハウス整備など</p>	<p>産地パワーアップ事業費補助金 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援(国費 1/2 等、市費 1/20) ・予算 42 件、事業費 1,783,890 千円 国補助 810,161 千円、市補助 82,554 千円 ・内容：産地化に必要なパイプハウス整備など</p>	
	<p>・実績 58 件、事業費 476,612 千円 県補助 205,891 千円、市補助 21,979 千円 ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など</p>	<p>・予算 71 件、事業費 728,411 千円、 県補助 292,213 千円、市補助 32,695 千円 ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など予定</p>	

① 生産施設や機械等の整備

<p>水田農業担い手機械導入事業 大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入支援（県費 1/3、市費 1/6） ・実績 12 件、事業費 70,040 千円 県補助 21,612 千円、市補助 10,814 千円 ・内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等</p>	<p>水田農業担い手機械導入事業 大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入支援（県費 1/3、市費 1/6） ・予算 20 件、事業費 184,187 千円 県補助 56,846 千円、市補助 28,427 千円 ・内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等</p>	<p>生産流通課</p>
<p>ふるさと農業活性化対策事業 生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入に対する支援。 ・実績 6 件 1,898 千円</p>	<p>ふるさと農業活性化対策事業 生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入に対する支援。 （予算 2,520 千円）</p>	
<p>制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成、及び災害復旧に対する利子助成を行った。 <新規貸付> ・L資金実績：44 件、506,720 千円 ・近代化実績：4 件、41,800 千円 <新規利子助成> ・災害対策資金：1 件、452 円（雪害）</p>	<p>制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成、及び災害復旧に対する利子助成を行う。</p>	<p>農政課</p>

① 生産施設や機械等の整備

2. 有害鳥獣対策

朝倉広域鳥獣被害防止計画（H27～H29）に基づき、被害防除、生息環境の管理、団体数調査などの有害鳥獣被害防止対策を総合的かつ計画的に推進する。

<p>久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援 事業費 5,335 千円 市補助 3,650 千円</p>	<p>久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援 事業費 5,500 千円 市補助 3,650 千円</p>	<p>みどりの里づくり推進課</p>
<p>鳥獣被害防止総合対策整備事業 実績：45 件、事業費 10,283 千円(国庫定額) 主な事業内容： 電気柵 17 名 11,640m ワイヤー柵 28 名 10,030m 防鳥施設 1 名 3,763 m²</p>	<p>鳥獣被害防止総合対策整備事業 予算：66 件、事業費 18,660 千円(国庫定額) ※内示額は 10,979 千円 主な事業内容： 電気柵 12 名 7,380m ワイヤー柵 32 名 14,970m</p>	
<p>有害鳥獣被害防止施設整備事業 実績：12 件、事業費 800 千円、 市補助 296 千円 主な事業内容： 防鳥ネット・電気柵・ワイヤー柵</p>	<p>有害鳥獣被害防止施設整備事業 予算：10～15 件、事業費 1,500 千円 市補助 600 千円 主な事業内容： 防鳥ネット・防獣ネット等</p>	

② 生産振興の強化

1. 環境保全型農業の推進

<p>土づくり推進対策事業 土づくりを推進する施設である久留米市土づくり広場の維持管理を行った。 (実績 3,679 千円)</p>	<p>土づくり推進対策事業 土づくりを推進する施設である久留米市土づくり広場の維持管理を行う。 (予算 4,212 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p>土づくり広場農業体験業務委託 市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進する。 (ジャガイモ等の作付 委託料 798 千円)</p>	<p>土づくり広場農業体験業務委託 市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進する。 (土づくりセンター見学、ジャガイモ等収穫体験 委託料 1,000 千円)</p>	
<p>環境保全型農業直接支払交付金 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロープ、堆肥の施用、有機農業、IPM 技術と組み合わせた雑草対策) 実績：15 件 12,751 千円 (国 1/2、県・市 1/4)</p>	<p>環境保全型農業直接支払交付金 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロープ、堆肥の施用、有機農業、IPM 技術と組み合わせた雑草対策) (予算 18,101 千円) (国 1/2、県・市 1/4)</p>	

2. 普通作の振興

<p>経営所得安定対策等推進事業 米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会の事務費を支援。 (実績 32,640 千円)</p>	<p>経営所得安定対策等推進事業 米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会の事務費を支援。 (予算 35,248 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
---	---	--------------

3. 園芸農業の振興

<p>野菜価格安定対策事業 野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図った。 (交付金額 536 千円、市造成額 4,013 千円)</p>	<p>野菜価格安定対策事業 野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図る。 (市造成額 10,778 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p>秋王の改植支援 種なし甘柿「秋王」の普及促進のため、改植支援を行った。 ・対象：JA くるめ柿部会 (実績 苗 90 本、補助金 21 千円)</p>	<p>秋王の改植支援 種なし甘柿「秋王」の普及促進のため、改植支援を行う。 ・対象：JA 柿部会 (予算 苗 2,050 本、補助金 750 千円)</p>	
<p>地域特産物普及推進対策事業 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進した。 (6 団体、3,338 千円) ・久留米つつじまつり ・久留米菊花振興会 ・菊花展 ・グリーンフェスティバル ・巨峰会 ・柿部会</p>	<p>地域特産物普及推進対策事業 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進する。 (7 団体、予算：4,408 千円) ・久留米つつじまつり ・久留米菊花振興会 ・菊花展 ・グリーンフェスティバル ・巨峰会 ・柿部会</p>	<p>みどりの里づくり推進課、生産流通課</p>
<p>植木・花卉振興対策事業 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行った。 (6 団体、4,790 千円) ・福岡県苗木農協 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会</p>	<p>植木・花卉振興対策事業 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行う。 (6 団体、予算：4,724 千円) ・福岡県苗木農協 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会</p>	<p>みどりの里づくり推進課</p>

4. 畜産の振興

<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入促進と酪農の生産振興を図った。 (優良雌牛 13 頭、受精卵 15 個 事業費 12,987 千円、市補助 2,856 千円)</p>	<p>優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵及び受精卵の導入促進と酪農の生産振興を図る。 (予算 市補助 3,437 千円)</p>	<p>生産流通課</p>
<p>乳用牛改良促進事業 共進会の開催や出品を通じて、畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を目指した。※ブリングショー中止 (実績 1 件、事業費 173 千円、市補助 86 千円)</p>	<p>乳用牛改良促進事業 共進会の開催や出品を通じて、畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を目指す。 (予算 市補助 451 千円)</p>	
<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図った。 (実績 1 件、事業費 1,699 千円、市補助 813 千円)</p>	<p>酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 (予算 市補助 813 千円)</p>	
<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援した。 (実績 2 件、事業費 37,857 千円、市補助 2,924 千円)</p>	<p>酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援する。 (予算 市補助 2,924 千円)</p>	
<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。 (実績 16 件、事業費 119,067 千円、県補助 36,845 千円、市補助 5,523 千円)</p>	<p>ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 (予算 11 件、事業費 115,057 千円、県補助 38,347 千円、市補助 5,744 千円)</p>	
<p>畜産経営環境整備施設改善事業 畜産農家が行う畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行なった。 (実績 1 件、事業費 811 千円、市補助 375 千円)</p>	<p>畜産経営環境整備施設改善事業 畜産農家が行う畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行う。 (予算 3,000 千円)</p>	

5. その他

<p>雇用型農業の推進 農業者、JA パッケージ事業の雇用確保に向けたシステムを構築するため、シルバー人材センター、就労継続支援事業所等と連携し、雇用される側に対し、イチゴ、リーフレタス、柿などの現地講習会を実施した。また、雇用する側に対しては、雇用を行う上での工夫等を学ぶための視察研修会を実施した。 (事業主体：久留米市農業振興協議会雇用型経営推進PJ、JAくるめ)</p>	<p>雇用型農業の推進 <雇用斡旋組織との連携> 昨年に引き続き、農業者、JA パッケージ事業の雇用確保に向けたシステムを構築するため、シルバー人材センター、就労継続支援事業所等と連携し、現地講習会や部会の実演会を行う。 (事業主体：久留米市農業振興協議会雇用型経営推進PJ、JAくるめ)</p>	<p>農政課 ・ 生産流通課</p>
<p>試験研究機関等との連携 <連携会議の開催> 日程：平成 29 年 2 月 13 日 (月) 場所：市役所 15 階 西側会議室 報告事項： (1) 各団体の取組状況について (2) 久留米市の農産物・緑花木輸出の取組状況について</p>	<p>試験研究機関等との連携 <連携会議の開催> 各機関の取組状況等の情報交換・意見交換等を実施する。</p>	<p>農政課</p>
<p>各地域の生産振興の取組 各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行った。(実績 1,244 千円) ・久留米市農業振興協議会 ・にじ農協管内農業振興協議会 ・小郡三井地区農業振興協議会 ・大川・城島・大城地区営農推進協議会</p>	<p>各地域の生産振興の取組 各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行う。 (予算 1,244 千円)</p>	<p>農政課</p>

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策7：販売力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
久留米ブランド農産物の認知度	%	—	51	43.9	—	—	—	60

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 流通環境の整備	1. 流通環境の整備		
	<p>強い農業づくり交付金 地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。 ※28年度は実績無し</p> <p>中央卸売市場の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物部 SF 級冷蔵庫新設工事 (事業費 17,650 千円) 水産物部管理棟耐震補強工事 (事業費 11,889 千円) 関連事業所棟耐震診断 (事業費 2,448 千円) 	<p>強い農業づくり交付金 地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食鳥処理施設整備支援【再掲】 (予算 405,039 千円) <p>中央卸売市場の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 青果部屋根トップライト改修工事 (予算 9,187 千円) 水産物部低温売場冷却機改修工事 (予算 5,465 千円) 青果部ジャバラ式保冷库冷却機改修工事 (予算 4,227 千円) 関連事業所別棟建築設計 (予算 1,769 千円) 市場施設給配水管改修設計 (予算 1,035 千円) 旧管理事務所解体設計 (予算 819 千円) 	<p>生産流通課</p> <p>中央卸売市場</p>

② ブランド化の推進	1. ブランド化の推進		
	<p>「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ロゴマークの導入支援 (3 団体、700 千円) <p>久留米産農産物の PR (事業主体：販売力強化推進協議会)</p> <p><消費者対象></p> <ul style="list-style-type: none"> 久留米フェスティバル in 天神 (H28.11.23) くるめ農商工よかもんマルシェ (H29.1.28) キラリ久留米農産物マルシェ (H29.3.20) <p><バイヤー対象></p> <ul style="list-style-type: none"> フードエキスポ九州 (H28.10.4-6) アグリフード EXPO 大阪 (H29.2.22-23) 	<p>「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ロゴマークの導入支援 (予算 5 団体、1,500 千円) 市内直売所などでの掲示支援 <p>久留米産農産物の PR (事業主体：販売力強化推進協議会)</p> <p><消費者対象></p> <ul style="list-style-type: none"> プロモーション動画の製作【新規】 東京アンテナショップでの PR【新規】 キラリ久留米農産物マルシェ 久留米フェスティバル in 天神 <p><バイヤー対象></p> <ul style="list-style-type: none"> フードエキスポ九州 (H29.10.4-5) アグリフード EXPO 大阪 (H30.2) 	<p>農政課</p>

<p>特定品目によるブランド農産物の育成 <トップセールス> ①日 時：H28.11.7（月） 場 所：福岡市中央卸売市場 内 容：久留米地域産富有柿のトップ セールス及び試食宣伝会 参加者：久留米市長、うきは市長、 JA にじ代表理事組合長 ②日 時：H28.12.20（火） 場 所：大阪市中心卸売市場 内 容：リーフレタスのトップセール ス及び試食宣伝会 参加者：久留米市長、JA くるめ代表理事 組合長、JA くるめ園芸作物部会 長研究会長連絡協議会会長</p>	<p>特定品目によるブランド農産物の育成 <トップセールス> ・各 JA の販売戦略に応じたトップセール スの実施 ・大都市圏（想定：大阪、福岡）の市場関 係者への PR を継続的に実施し、農業 者・農業団体、行政が一体となって、大 都市圏での市場関係者へ久留米産農産物 の魅力を PR する。 <特定品目の選定・PR> ・リーフレタスに続く特定品目として「サ ラダ菜」を選定し PR を行う。 ・各 JA の魅力を活かした共同 PR の実施、 検討</p>	<p>農政課</p>
<p>九州大学との連携事業 ・久留米産農産物の広域流通におけるブ ランド化を視点とし、卸売市場等を対 象とした調査を継続して行った。</p>	<p></p>	<p></p>

1. 異業種間の情報・意見交換による事業促進

<p>6次産業化交流会【広域】 久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として実施した。 日時：H28.5.27（金）13:30～17:00 場所：久留米シティプラザ 5階大会議室 内容： ①基調講演 6次産業化プランナー：木村俊朗氏 ②パネルディスカッション （パネラー：萩原オリーブ、鹿毛ファーム、農事組合法人山辺の里、エンガイ緑販有限会社） （モデレーター：6次産業化プランナー田中美智子氏） ※参加者：116名（内農業者：26名）</p>	<p>6次産業化交流会【広域】 久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として実施。 日時：H29.5.29（月）13:30～17:00 場所：久留米シティプラザ 5階大会議室 内容： ①基調講演 6次産業化プランナー：長岡淳一氏 ②パネルディスカッション （パネラー：きたのベジタブル、中村農園、みのう山荘、農事組合法人大春の里） （モデレーター：6次産業化プランナー田中美智子氏） ※参加者：121名（内農業者：36名）</p>	<p>農政課</p>
<p>農商工連携見本市【広域】 （事業主体：久留米市農商工連携会議） 久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として開催した。 <見本市 BtoB> 日時：H29.2.8（水）10:00～16:00 場所：久留米シティプラザ 展示室他 （農商工連携セミナー、農業経営支援研修会と同時開催） 参加人数：出展者 30団体、来場者 154名 <くろめ農商工よかもんマルシェ BtoC> 日時：H29.1.28（土）11:00～16:00 場所：久留米シティプラザ 六角堂広場 （見本市出展者の中から17事業者が出展） 来場者：市民・一般消費者 約3,000名</p>	<p>農商工連携見本市【広域】 （事業主体：久留米市農商工連携会議） 久留米広域連携中枢都市圏（4市2町）の取組として開催。 日時：調整中 場所：久留米シティプラザ（予定） ※個別商談会などマッチングの機会をより多く設定する。 農商工連携セミナー等を同時開催。</p>	
<p style="text-align: center;">/</p>	<p>食と農の連携強化事業【新規】 ・農業と医療機関の連携をテーマとした推進グループの設置、事業の検討。</p>	

2. 商品開発や販路開拓の資金面からの支援

③ 6次産業化の推進

<p>6次産業化推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品開発支援 5件 (744,300円) (きたのベジタブル、もりもりファーム、田村哲、森光力、古賀大資) 販路拡大支援 2件 (678,000円) (一般社団法人れんこん、中村理恵子) 	<p>6次産業化推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品開発支援 (5件程度、上限30万円) 販路拡大支援 (3件程度、上限50万円) 5/1～6/30まで公募 <p>※ 採択状況によっては、第2次公募を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> H24～H28年度に支援を行った6次化産品をPRする冊子の作成 (2,000部、予算500千円) 	<p>農政課</p>
<p>農商工連携会議プロジェクト (事業主体：久留米市農商工連携会議) 農業者と商工業者が連携して取り組む商品化や事業化に対して支援を行った。</p> <p>①バニラビーンズプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験圃場における栽培技術の確立 市内企業における商品開発 <p>②久留米産肉用牛販路拡大プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品見本市等への出展 企業との連携による販路拡大、サンプル作成 (補助実績：400千円) <p>③ハト麦活用推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会等への出展、試作品作成 ハト麦の効果効能について検証、「ハトムギの抽出物の生産方法」に関して特許出願 (補助実績：1,000千円) 	<p>農商工連携会議プロジェクト (事業主体：久留米市農商工連携会議) 農業者と商工業者が連携して取り組む商品化や事業化に対して支援を行う。</p> <p>(予算1,450千円)</p>	

1. 輸出に取り組む農業者への支援

輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業
 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)

輸出に取り組む意欲ある人材を育成するため、九州大学と連携して研修や香港での試験販売等を実施した。

講座	日程	テーマ
第1回	H28.10.20(木)	農産物輸出の基礎
第2回	H28.11.18(金)	商社との折衝
第3回	H29.1.22(日) ～25日(水)	現地実習(香港)
第4回	H29.3.17(金)	発表、意見交換

参加者：認定農業者、農業団体職員等
 9名(現地実習参加4名)

海外販路開拓チャレンジ

(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)

展示商談会の出展による海外バイヤー等とのマッチング

日程：H28.10.4(火)～6(木)

会場：福岡国際センター

出展：8名・団体

シンガポールにおける「九州フェア」PR支援
 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)【新規】

明治屋シンガポール「九州フェア」参加。「フードエキスポ九州 2016」の商談がきっかけとなり「九州フェア」への採用決定。久留米市ブースを設置し、試食宣伝PRを実施。

日程：H29.2.17(金)～26(日)10日間
 うちPR活動は

H29.2.17(金)～19(日)3日間

会場：明治屋シンガポール店

輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業
 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)

輸出に取り組む意欲ある人材を育成するため、九州大学と連携して研修や香港での試験販売等を実施。

講座	日程	テーマ
第1回	8月	農産物輸出の基礎
第2回	10月	商社との折衝
第3回	1月	現地実習(香港)
第4回	3月	発表、意見交換

参加者：市内認定農業者、農業団体職員等
 10名程度

海外販路開拓チャレンジ

(事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)

展示商談会の出展による海外バイヤー等とのマッチング

目的：輸出研修参加者やJAを対象に「フードエキスポ九州 2017」への出展を支援。

時期：H29.10.4(水)～5(木)

会場：福岡国際センター

シンガポールにおける「九州フェア」PR支援
 (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会)

目的：シンガポールでのフェアに参加し、将来的な商ベースでの販路開拓・確保につなげる。

時期：平成30年2月頃

会場：明治屋シンガポール店

出展対象：26年度から実施している輸出研修の参加者および市内のJA

農政課

④ 海外への販路拡大支援

<p>東アジア地域での販路確保及び PR (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会) 福岡県が実施する福岡県フェアと連携し、現地消費者の購買動向の調査、現地商社との意見交換を行った。 日程：H29.2.24(金)～3.5(日) ※現地調査は 2.9(木)～12 日(日) 会場：現地量販店 3 店舗の青果物売り場 内容：量販店の店頭での PR と販売促進 ①久留米産富有柿 ※今期マレーシアへの久留米産柿出荷量 総重量 1,660kg</p>	<p>東アジア地域での販路確保及び PR (事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会) 福岡県が実施する福岡県フェアと連携し、販売活動や現地消費者の購買動向の調査、現地商社等との意見交換を行う。 時期：県と調整 実施地域：マレーシア (県と調整) 日程：3 泊 4 日程度 会場：現地量販店等 参加者：JA、農業者、市職員</p>	<p>農政課</p>
<p>農産物の輸出支援事業補助金【新規】 農業団体等が輸出に取り組む際の支援 (1/2 補助、上限 50 万円/団体) (実績：1 法人、233 千円)</p>	<p>農産物の輸出支援事業補助金 農業団体等が輸出に取り組む際の支援 (1/2 補助、上限 50 万円/団体) (予算 1,000 千円)</p>	
<p>緑化木輸出に向けた取組 (事業主体：久留米市緑化木等販路拡大協議会) 県と連携し線虫防除、長距離輸送の試験を継続して実施するとともに、今後の輸出に向けた商社との商談等を行った。</p>	<p>緑化木輸出に向けた取組 (事業主体：久留米市緑化木等販路拡大協議会) ・県と連携した、線虫防除対策の継続。 ・国内外の販路開拓に向けて、商談会への参加、情報収集。 (予算 100 千円)</p>	<p>田主丸産業振興課</p>

【基本施策Ⅲ「競争力のある産地の育成」：H29 年度施策の方向性】

＜生産力の強化＞

国県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、農業団体等が取り組む生産振興への支援や有害鳥獣対策などに取り組む。特に、国庫事業の「産地パワーアップ事業」や県の「活力ある高収益型園芸産地育成事業」等を活用して、早期に機械や施設の導入ができるよう支援を行う。

＜販売力の強化＞

ブランド化については、平成 29 年度も「久留米産農産物の認知度及びイメージの向上」「特定品目による久留米ブランド農産物への支援」を 2 つの柱として取り組む。特に、PR 資材等による、市内直売所等店頭での「キラリ久留米」「くるっぱ」の表示強化や、久留米産農産物のイメージ向上を図るための、プロモーション動画の製作に取り組む。また、久留米ブランド農産物として新たな品目として「サラダ菜」を選定し、PR を行う。

6 次産業化については、これまで支援してきた 6 次化製品の冊子を作成し、周知を図る。また、農商工連携では、キラリ創生総合戦略に基づき、食と農の連携事業の推進を図っていく。

海外への販路開拓支援については、輸出研修や県との連携など、従来の取組を活かして、新たな国・地域として、マレーシアやシンガポールでの事業に取り組み、民間ベースでの輸出の取組が実現・定着するように支援を行う。

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 8：農業生産基盤の整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
農業生産基盤整備の面積	ha	5,183.9	5,183.9	5,183.9	—	—	—	5,211

① 農業生産基盤の整備・改修	主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
----------------	------	----------	----------	-----

1. 計画的な整備・改修

<p>経営体育成基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 住吉地区の区画整理、暗渠排水、農道、用排水路の整備を実施した。 他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組んだ。 <p>(住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：8,400千円)</p>	<p>経営体育成基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 住吉地区の暗渠排水、農道、用排水路の整備を実施する。 他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組む。 <p>(住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：3,900千円)</p>	農村整備課																																																				
<p>農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業</p> <p>農業生産性の向上と、災害の未然防止などに資する整備に取り組んだ。</p> <p>(県営農村振興総合整備事業費負担金：55,100千円)</p> <p>(災害に強いため池等整備事業費負担金：14,000千円)</p> <p>(県営クリーク防災機能保全対策事業費負担金：2,033千円)</p> <p><工種別事業費></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>3</td> <td>1,105</td> <td>128,216</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>4</td> <td>2,260</td> <td>86,448</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>5,736</td> </tr> <tr> <td>クリーク</td> <td>5</td> <td>1,999</td> <td>46,745</td> </tr> </tbody> </table>	工種		箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	3	1,105	128,216	用排水路	4	2,260	86,448	防火水槽	1	—	5,736	クリーク	5	1,999	46,745	<p>農地耕作条件改善事業【新規】</p> <p>国事業を活用して土地改良区等が事業主体となって取り組む暗渠排水施設の再整備等を支援する。</p> <p>(農地耕作条件改善事業費補助金：3改良区への補助金、145,590千円)</p>																																
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																			
農道	3	1,105	128,216																																																			
用排水路	4	2,260	86,448																																																			
防火水槽	1	—	5,736																																																			
クリーク	5	1,999	46,745																																																			
<p>農業用施設整備事業他</p> <p>農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図った。</p> <p><工種別工事費></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>22</td> <td>3,830</td> <td>73,261</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>12</td> <td>904</td> <td>59,542</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>12,421</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	22	3,830	73,261	用排水路	12	904	59,542	ため池	2	—	12,421	<p>農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業</p> <p>農業生産性の向上や災害の未然防止などの安全性向上に取り組む。</p> <p>(県営農村振興総合整備事業費負担金：185,000千円)</p> <p>(災害に強いため池等整備事業費負担金：4,450千円)</p> <p>(県営クリーク防災機能保全対策事業費負担金：4,729千円)</p> <p><工種別事業費></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>9</td> <td>3,375</td> <td>257,938</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>14</td> <td>4,140</td> <td>472,462</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>クリーク</td> <td>仕上工事</td> <td>—</td> <td>108,317</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	9	3,375	257,938	用排水路	14	4,140	472,462	防火水槽	1	—	9,600	クリーク	仕上工事	—	108,317	<p>農業用施設整備事業他</p> <p>農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図る取組を行う。</p> <p><工種別工事費></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長 (m)</th> <th>事業費 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>20</td> <td>5,365</td> <td>98,510</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>11</td> <td>837</td> <td>68,472</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>40,000</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)	農道	20	5,365	98,510	用排水路	11	837	68,472	ため池	1	—	40,000
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																			
農道	22	3,830	73,261																																																			
用排水路	12	904	59,542																																																			
ため池	2	—	12,421																																																			
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																			
農道	9	3,375	257,938																																																			
用排水路	14	4,140	472,462																																																			
防火水槽	1	—	9,600																																																			
クリーク	仕上工事	—	108,317																																																			
工種	箇所数	整備延長 (m)	事業費 (千円)																																																			
農道	20	5,365	98,510																																																			
用排水路	11	837	68,472																																																			
ため池	1	—	40,000																																																			

② 農業用施設の長寿命化の推進

1. 計画的な整備・改修

H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
<p>農業水利施設保全対策事業</p> <p>国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6地区の施設（揚水機場・ゲート・排水機場）の予防保全対策工事 ・事業費：195,113千円 ・地元負担金：79,261千円 	<p>農業水利施設保全対策事業</p> <p>国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5地区の施設（揚水機場・ゲート・排水機場）の予防保全対策工事 ・事業費：49,292千円 ・地元負担金：12,280千円 	<p>農村整備課</p>

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 9：優良農地の確保

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
耕作放棄地の面積	ha	93 (H26)	98.2	91.8	—	—	—	88.2

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

① 優良農地の確保	1. 農業振興地域整備計画事業			
	農用地利用計画の一部変更 H28.3 に整備計画の全体見直しを行い、随時、農振法の規定に基づき適切に整備計画の変更を行っている。 ・除外 12 件、192,592 m ²	農用地利用計画の一部変更 農振法の規定や市ガイドラインに基づき適切に整備計画の管理を行う。	農政課	
	2. 農地法の運用			
	農地法に基づき農業委員会総会等で十分な審査を行った。 ・農地法 4 条許可 36 件 2.6ha ・農地法 5 条許可 163 件 11.9ha 内、第 1 種農地 61 件 2.9ha	農地の転用など、農地法に基づき農業委員会総会等で十分な審査を行うとともに、転用地について農業上の利用に支障が少ない農地に誘導するなど、農地と農地以外の土地利用との調整を図る。	農業委員会事務局	

② 耕作放棄地の発生抑制と解消	1. 関係団体と連携した取組			
	耕作放棄地の実態把握・解消指導 ・農業委員会の実施する「利用状況調査」に併せて「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を実施し、耕作放棄地の実態把握に取り組んだ。 ・耕作放棄地の発生を未然に防止するため、農業委員による農地パトロールを、年間を通じて行った。 ・耕作できない所有者については、農地中間管理事業の利用を促したり、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組んだ。 H28.4～H29.3 農地パトロール H28.7～H28.8 利用状況調査 H28.9～H28.10 調査結果集約 H28.11 利用意向調査	耕作放棄地の実態調査・利用意向調査 ・農業委員会の実施する「利用状況調査」に併せて「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を実施し、耕作放棄地の実態把握を行う。 ・農地利用最適化推進委員による農地パトロールを、年間を通じて行い耕作放棄地の発生を未然に防止する。 ・耕作放棄地の所有者へ「利用意向調査」を行い意向に沿った対応を行う。また、耕作できない農地については、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組む。 H29.4～H30.3 農地パトロール H29.8～H29.9 利用状況調査 H29.10～H29.11 調査結果集約 H29.11～H30.1 利用意向調査	農業委員会事務局 ・農政課	

② 耕作放棄地の発生抑制と解消

2. 耕作放棄地対策協議会の取組

<p>国・市事業による再生利用支援 国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用し、農業者による耕作放棄地の再生利用の取組を促進した。 国事業実績：(2 件) 79a、2,213 千円 市事業実績：(1 件) 69a、900 千円</p>	<p>国・市事業による再生利用支援 関係機関との連携を図り、耕作放棄地の対策に取り組む。 ※国の交付金活用については、平成 29 年度より、市の直事業として取り組む。</p>	<p>農政課</p>
--	--	------------

【基本施策Ⅳ「持続可能な農業生産基盤の確立」H29 年度施策の方向性】

生産効率の高い農業構造の実現を図るため、ほ場の区画整理、大区画化・農道や用排水路の整備を行ってきた。農業に対する先行きの不安感や事業費の地元負担などの理由から、ほ場整備事業に対する関心は低い状況にあるが、関係者の理解促進並びに地元負担軽減の取り組み等を提案しながら事業推進に取り組む。

土地改良事業実施済区域においては、農地耕作条件改善事業による暗渠排水施設の再整備を進め、引き続き、水田の汎用化、農業生産性の向上を図っていく。

農業水利施設保全対策事業については、県と連携しながら農業水利施設の長寿命化等の適切な予防保全を図っていく。

優良農地の確保については、農業委員会による「農地パトロール（利用状況調査）」や、市による「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」により、農地の状況を把握し、耕作放棄地の発生防止や解消に取り組むとともに、農地法や農振法に基づき農地と農地以外の土地利用の調整を図っていく。

基本施策V：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策10：多面的機能の発揮と農村の環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
多面的機能の維持に取り組む地域活動面積の割合	%	56	58	60	—	—	—	75

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
------	----------	----------	-----

1. 多面的機能の維持発揮への支援

① 多面的機能の発揮

<p>多面的機能支払交付金事業 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28年度交付組織数 ： 95組織＋新規3組織＝98組織 ・ 事業費：交付金309,993千円 (内、市負担分77,498千円) ※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4 	<p>多面的機能支払交付金事業 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年度交付組織数 ： 98 組織＋新規 4 組織＝102 組織 ・ 事業費：交付金 337,194 千円 (予算) (内、市負担分 84,300 千円) ※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4 	<p>農村整備課</p>
<p>中山間地域等直接支払交付金事業 H28年度は、第4期協定の2年目であり、地域の農業生産活動の継続に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生 ・ 参加農家：371戸 ・ 対象農用地：135ha ・ 事業費：交付金 10,766 千円 (内、市負担分 2,692 千円) 推進交付金：470 千円 (内、市負担分 60 千円) ※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4 	<p>中山間地域等直接支払交付金事業 田主丸町の生産条件が不利な中山間地域の生産コストを支援し、農業生産の維持や多面的機能の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生 ・ 参加農家：371戸 ・ 対象農用地：135ha ・ 事業費：交付金 10,766 千円 (内、市負担分 2,692 千円) 推進交付金：502 千円 (内、市負担分 92 千円) ※負担割合：国 1/2 県 1/4 市 1/4 	<p>農政課 ・ 田主丸産業振興課</p>

1. 安全施設・表示の設置

② 安全な農村環境づくり

<p>農道等の安全対策 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図った。 (宮ノ陣町他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガードレール設置 L=369.8m ・ 転落防止柵設置 L=250.0m ・ 路面表示、道路反射鏡設置等 4箇所 ・ 決算額 6,875 千円 	<p>農道等の安全対策 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図る。 (草野町矢作他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガードレール設置 L=180.0m ・ 道路反射鏡、視線誘導標設置等 3箇所 ・ 予算 3,200 千円 	<p>農村整備課</p>
<p>ため池の安全対策 設置済のフェンスなどの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底を図った。</p>	<p>ため池の安全対策 設置済のフェンスや注意喚起看板などの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底に努める。</p>	<p>農村整備課</p>

主な事業

H28 年度実績

H29 年度計画

担当課

③ 農村生活環境の整備

農業集落排水処理施設の維持管理

農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図った。
(実績 : 218,039 千円)

農業集落排水処理施設の維持管理

農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図る。
(予算 237,000 千円)

上下水道部
下水道整備課、
下水道施設課

基本施策V：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策11：農村地域の活性化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
耳納北麓地域の交流人口	万人	180 (H25)	203 (H26)	未公表	—	—	—	230

主な事業	H28 年度実績	H29 年度計画	担当課
-------------	-----------------	-----------------	------------

① みどりの里づくりの推進	<p>耳納北麓地域農業体験事業【新規】 耳納北麓地域の素材（緑花木、果樹、野菜等）を活用し、農業の生産から収穫に至る過程を体験することを通じ、農業を主体とした経済活性化を図る。 H27 年度に実施した調査業務に基づき、地域生産者の農業体験を行った。</p>	<p>耳納北麓地域農業体験事業 耳納北麓地域の素材（緑花木、果樹、野菜等）を活用し、農業の生産から収穫に至る過程を体験することを通じ、農業を主体とした経済活性化を図る。 今後、体験メニューの充実を図る。 また、農家民泊の事業実施に向けた準備を行う。</p>	みどりの里づくり推進課
	<p>散策ルートの設置推進 耳納北麓5校区を繋ぐ散策ルートのサインを整備し、来訪者が自由に散策できる環境整備を行った。 ・ H28 年度：山川校区 （実績 5,301 千円）</p>		
	<p>フルーツ観光農園モデル整備事業【新規】 久留米市キラリ創生総合戦略」における「耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ」対象地域内のフルーツ観光を推進するため、農園内の施設及び機器の整備について支援した。 （実績 2,555 千円）</p>	<p>フルーツ観光農園モデル整備事業 久留米市キラリ創生総合戦略」における「耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ」対象地域内のフルーツ観光を推進するため、農園内の施設及び機器の整備について支援する。 （予算 3,500 千円）</p>	
	<p>世界のつばき館植栽管理 久留米市世界のつばき館の適切な植栽管理を行い緑花木産業の振興を図る。 ・ 世界のつばき館樹木管理業務委託：3,269 千円 ・ つばき園管理業務等委託：6,048 千円</p>		
	<p>拠点施設の管理運営 指定管理者による、管理運営を行った。 ・ 指定管理者：（一財）久留米しみどりの里づくり推進機構 ・ 道の駅くるめ ・ 久留米ふれあい農業公園</p>	<p>拠点施設の管理運営 指定管理者による、管理運営を行う。 ・ 指定管理者：（一財）久留米しみどりの里づくり推進機構 ・ 道の駅くるめ ・ 久留米ふれあい農業公園</p>	

1.九州大学との連携事業

<p>農村地域の活性化策の検討 みどりの里づくりエリアを中心に地域資源の調査及び人を呼び込む地域活性化策の検討を依頼した。</p>	<p>農村地域の活性化策の検討 昨年に引き続き、みどりの里づくりエリアを中心に地域資源の調査及び人を呼び込む地域活性化策の検討を行う。</p>	<p>みどりの里づくり推進課、農政課</p>
--	--	------------------------

【基本施策Ⅴ「多面的機能の発揮と農村地域の活性化」：H29 年度施策の方向性】

農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、国事業等を活用し、農業者だけでなく地域ぐるみの協働活動の拡大を図るとともに、農道等の安全対策を通じて安心・安全な農村環境づくりに取り組む。

また、「久留米市キラリ創生総合戦略」における「耳納北麓（職遊一体型）グリーンアルカディア創生パッケージ」事業を推進させるため、農家民泊や耳納北麓地域農業体験事業などに取り組むとともに、豊かな自然やフルーツ農園など魅力ある地域資源を有している、みどりの里づくりエリアを中心とした農村地域に、人を呼び込み、農業をはじめとした地域産業の活性化（振興）を図っていくため、九州大学等と連携して、6次産業化など新たな産業の創出に取り組んでいく。